

三丘アカシアトークカフェ
第16回

日本のお弁当文化

リモート参加できます！



2024年
2/17 (土)

14:30~

16:30

会場：三丘会館

会費：500円

講師 権代美重子さん (高20回)

ホスピタリティ論、アーバンツーリズム専門、観光振興アドバイザー

お問い合わせ等は三丘同窓会事務局まで

三丘同窓会事務局

E-mail sankyuu@oregano.ocn.ne.jp

HP <http://sankyuu.sakura.ne.jp/topics/event.html>

TEL 072-238-3093

右記QRコードからもお申込みいただけます



現地参加用QR



リモート参加用QR

日本のお弁当文化

講師からのメッセージ

2013年「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、日本の食文化が国の内外から注目されています。お弁当は誰しにも身近な和食です。いつも人々の生活と共にあり、人々の知恵と工夫がお弁当文化を育んできました。お弁当の歴史をひもときながら、お弁当文化についてご紹介したいと思います。

お弁当は単なる携行食という枠を超えて、今や社会的な役割をも担うようになってきました。私は、お弁当は一つの表現文化である、ととらえています。お弁当を通して、作った人の気持ちやセンス、人柄が伝わってくるとともに、時代や社会も見えてきます。そして、人と人をつなぐ「お弁当」の持つぬくもりが好きです。

講師 権代美重子さん 1950年生まれ。上野芝中学校卒業、三国丘高校20回生・バスケットボール部。



高校では、部活に励み、みんなで何か作り上げるのが好きで文化祭や体育祭で張り切る学生でした。あまり勉強しなかったので大学受験は失敗。浪人かと思っていたところ、先生から「住友銀行が国公立大を受けるような女子を短大卒待遇で採用したいので推薦を求む」という話があり、住友銀行に入行、貸付業務秘書になりました。たまたま手にした雑誌の職場紹介記事で「6か月間しっかり語学と教養の訓練をし、世界の空を職場とする」という航空会社乗務員のことを知り、こんな仕事もあるのかと大変驚きました。たまたま数か月後に新聞に募集記事が出て、応募してみたことがきっかけで日本航空の国際線客室乗務員になりました。19歳のときです。まだ海外旅行が憧れの時代に世界各地を見聞することが出来たのは恵まれていたと思います。

これらの経験が、企業研修の講師や観光分野での「もてなし向上」「地域ホスピタリティ醸成」の指導につながりました。観光シンクタンク（財）日本交通公社の講師になったことから、国土交通省や観光庁の委員やアドバイザーも務めることになりました。大学に入ったのは41歳のとき、大学院に入ったのは57歳のときです。院生2年目から大学で観光分野の科目を教えることになり、70歳の定年まで教鞭をとりました。食文化の研究を始めたのは、もてなしに響応は不可欠であり、観光振興にとっても

「食」は非常に重要だからです。食文化の研究が「日本のお弁当文化」を執筆するきっかけとなりました。ふつうの三丘生とはちょっと違う卒業後の展開で、「塞翁が馬」の故事や克蘭ベルツの「偶発性理論」を思い浮かべたりします。

日本女子大学卒業、立教大学大学院修了（ブランドマーケティングを学ぶ、経営管理学修士）

1968年(株)住友銀行、1969年日本航空(株)客室乗務員・文化事業部講師を経て、1997年より（財）日本交通公社講師、2009年より横浜商科大学・文教大学・高崎経済大学非常勤講師

著書：「新現代観光総論」（共著 学文社2019）、「日本のお弁当文化」（法政大学出版局2020）

「江戸の食商い」（法政大学出版局2024）

日時 2024年2月17日（土）14：30～16：30

会場 三丘会館

会費 500円

申込方法 表面のQRコードまたは三丘同窓会事務局にお申し込みください。

※リモート参加の方は表面のQRコードからお申し込みください。

締切 2月10日（土）



三丘アカシアトークカフェ 第16回 日本のお弁当文化 申込書 年 月 日

お名前	中・併 高・定	期/回	旧職員 現職員
連絡のつきやすい 電話番号	備考		

三丘同窓会事務局 〒590-0023 堺市堺区南三国ヶ丘町2丁2-36

TEL (072)238-3093 / FAX (072)242-7876 / E-mail sankyuu@oregano.ocn.ne.jp

HP <http://sankyuu.sakura.ne.jp/topics/event.html>